

令和6年度 5学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 昨年度の授業改善プランの検証

- 【国語】言葉の特徴や使い方に関する事項、言語文化に関する事項、読むことの校内正答率が低い実態がある。また、書くこと（文章構成の役割について理解し、文で表すこと）に課題がある。
- 【社会】都道府県の様子について「滋賀県の位置と名称」の記述がもっと低いことから各都道府県位置が明確でないことが伺える。また、全体的に地図や資料等の読み取り記述問題への対応に課題がある。
- 【算数】記数法で表す問題、余りのあるわり算、変化と関係、平行四辺形の作図の校内正答率が低い。特に2つの数量関係を求める問題と平行四辺形の作図の正答率が極端に低いことに課題がある。
- 【理科】基礎的な知識は定着しつつあるが、記述式の回答では説明が不十分であるなどの課題がある。

2. 大田区学習効果測定の結果

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	◆			◆			◎			◆		
観点別	◆	◆	◆	▽	◆	◆	◎	◆	◆	◆	▽	◆
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

◎ 正答率平均が目標値を上回った教科・観点

◆ 正答率平均が目標値と同程度の教科・観点

▽ 正答率平均が目標値を下回った教科・観点

3. 各教科の授業改善プラン

(1) 国語・社会・算数・理科

- 【国語】文章を書く力を身に付けさせるために、テーマに合った内容の作文や理由を明確にした説明文や報告文を書く機会を設定する。また、国語の授業だけでなく、他教科でも振り返り活動の充実を図り、定期的を書く指導を行う。読むことに関しては、授業改善や課題プリントで既習事項の確認及び指導を行う。
- 【社会】社会科の用語を正しく押さえた上で、ジグソー学習や、ワールドカフェ形式での発表を取り入れて、児童が主体的に学習に取り組めるように指導していく。また、ICTを活用して発表用のスライド作成を通して協働的に学習できる機会を多くもたせていく。さらには、キーワードを使ってグラフや資料を説明する記述式の課題に取り組ませる。
- 【算数】計算ドリル、宿題（課題）プリント、ICT機器の活用を通して基礎的な知識や技能（既習事項）を身に付けさせる。また、朝学習やまとめ学習の時間を活用し、校内正答率が低い単元を理解できるようサポート問題等を作成し、取り組ませる。

【理科】 実験結果を基に、自分の言葉で考察をする経験を積ませ、過不足なく説明する力を伸ばす。
友達と意見を交流する時間を設け、多角的な見方に気づかせる。問題解決の流れを意識させる授業を行い、実験結果の分析を個人で行えるようにする。

(2) 音楽・図画工作・家庭・体育

【音楽】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆ 身体の成長とともに個人の実技技能について差異が見られる。 ○歌唱では自己の声の変容について意識させていく。器楽は各楽器の基本技能を復習する。音楽づくりおよび鑑賞ではICT機器を活用する。	◆ 自己の発想を音楽表現に生かしていくための工夫が必要である。 ○ICT機器活用の際のコンテンツを変更し、多角的に音楽の仕組みを学習していく。	◆ 技能の個人差があることから、学習意欲においても個人の差異が見受けられる。 ○グループでの合奏等、協働的学習の機会を増やしていく。

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆ 一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○用具の基本的な使い方を含め実技指導時にICT機器を活用し視覚的に分かりやすい指導を行う。	◆ 一人一人の発想力や構成力の差が見受けられる。 ○自分のイメージや表したいことを表現できるように、制作の前に練習や試作の時間を設ける。	◆ 領域により苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○作品完成後に鑑賞の時間を取り、自他の作品の良さを知り、一人一人が作り出す喜びを味わう機会とする。

【家庭】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆ 手縫いやミシンの指導にあたって、学習の見通しをもつことが難しい。 ○協同作業を取り入れ、児童同士での理解を深め合う場を設ける。	◆ 実生活の経験の差があり、家族の一員として、生活を工夫するという意識にばらつきがみられる。 ○様々な題材において、題材の最初に課題設定(疑問点やできるようにになりたいこと)をさせる。	◆ 家族の一員として、生活をより豊かにするための袋物の製作に対して意欲を高めさせたい。 ○学習の見通しを持たせるために、学習の最終目標や見通しを提示し、主体的に学習に取り組む態度を養っていく。

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆ マット運動での回転系や巧技系の基本的な技が習得できていない児童が多い ○体づくり運動や様々な場面で動きを取り入れていく。	◆ 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫することが苦手な傾向がある。 ○タブレット端末などを活用して、メタ認知できる工夫をする。	◆ 場や用具の安全に気を付けられない児童が多い。 ○場や用具について、考えさせたり、細かく指導したりする中で身に付けさせていく。